政策名 快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名 21 都市基盤の安全性、快適性の確保

	所管課係名			-1.4.H	.+=	江縣北	475	成果指	標				事務事業全体			一般財源分		
事務事業			事務事業の概要	事務事業の目的	対象指 (対象の数値		活動指 (手段の数値		(意図したこと 数値指標	の結果の	事業費(実績額)	人件費 (理論値)	トータルコスト		特定	対源に伴う一般財源	一般財源	全庁評価会議
番号	事務事業名		サがサネい似女 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)	① (千円)	② (千円)	①+②	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円) 事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	(24年度に向けた 方向性等)
	施設管理課 土木工事係		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的 道路法 第29条	- 対象 地域住民		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 廃止(完了・統合含む	平成22年度	説明欄:	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 廃止(完7・統合含む)	説明欄:
	上小工事际		理府伝 第29宋 交通安全対策基本法 第4条			170 (m)		160 (m)		94	24,524	2,435	26,959	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 1 説明欄:道路法並びに交通安全対策基本法 では、道路管理者である市が安全かつ円滑	i.s.		必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 1 1 所管課長 施設建設担当 小島 信行	
				手段 現場の測量、道路詳細設計、工事の		平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	な交通を確保するよう規定されている。 幅することにより生活道路の安全性が向上 し地域住民が安全に移動できる。道路は公	工 平成21年度		説明欄:道路法並びに交通安全対策基本法では、道路管理者である市が安全かつ円滑な交通を確保するよう規定されている。拡	
21-05-01	市道2254号線改修事		TERRIDO E APRIDO DE TREE	内容	事業全体延長	-	工事施工延長	- エ	事施工延長	-	28,284	1,465	29,749	益性の高い施設であり、周辺状況や交通量を踏まえ、コストのかからない道路整備が必要である。平成22年度は一軒を除き用地	t i		幅することにより生活道路の安全性が向上 128,284 28,284 益性の高い施設であり、周辺状況や交通量	
	*	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出) □ 直営(委託無) □ 全部委託		_	(m) 平成20年度		(m) 平成20年度		(%) 平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	買収の完了した所を幅員6.0mで整備を実施した。平成23年度に、残る用地の取得並びに道路整備を実施し本事業の完了させる予	で 平成20年度		を踏まえ、コストのかからない道路整備が 必要である。平成22年度は一軒を除き用地 平成20年度 買収の完了した所を幅員6.0mで整備を実施	
		事業形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	意図 安全性、快適性が向上した生活道路 を利用できる。		-		-		-	51,379		53.932	定である。	1 7 7 2		した。平成23年度に、残る用地の取得並びに道路整備を実施し本事業の完了させる予 に道路整備を実施し本事業の完了させる予	
			□ その他()			(m)		(m)		(%)		,	,			説明欄: 本事業の市単		説明欄:
	施設管理課 土木工事係		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的 道路法 第29条 交通安全対策基本法 第4条	対象 地域住民		平成22年度		平成22年度 370		平成22年度			平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 原止(完7・総合会な 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 節用脚・道欧生がなどな済年を分替能する		独費は補助金 ((補助対象額) 1/2) と交付金 ((補助対象額) 1/4)) であり残りは市の単独費	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 必要性 有効性 達成度 効率性	INCOTING.
		等 ———		手段 現場の測量、道路詳細設計、工事の		(m) 平成21年度		(m) 平成21年度		(%) 平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	説明欄:道路法並びに交通安全対策基本法 では、道路管理者である市が安全かつ円滑 な交通を確保するよう規定されている。平 成22年度は事業区間の用地買収を完了する ことができた。本事業は、平成23年度の完	E	となる。 成21年度	所管課長 施設建設担当 小島 信行 平成21年度 説明欄:	-
21-05-02	市道2161号線改修事			内容	事業全体延長	370	用地取得延長 (累計)	254 (地取得率 (累計)	69	52,556	2,772	55,328	成を目途に事業展開を図っており、計画通り進めば平成24年3月末には完了予定である。				
	*	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出) □ 直営(委託無) □ 全部委託	意図 安全性、快適性が向上した生活道路 を利用できる。	及日	(m) 平成20年度		(m) 平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	事業延長L=400m 幅員W=6.0m→W=11.0m (車道7.0m+歩道2.0m×2)	平成20年度	平成20年度	平成20年度	
		事業形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金			370		197		53	146,731		154,167		44,119			
			□ その他() ■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的			(m) 平成22年度		(m) 平成22年度		(%) 平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持	平成22年度	説明欄: 本事業の市単	平成22年度 24年度以降に向けた方向性:	説明欄:
	施設管理課 土木工事係	根拠	道路法 第29条 交通安全対策基本法 第4条	- 対象 地域住民		457		0		0	0	396	396	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	:	無質は補助金 ((補助対象額) 1 / 2) と交付金 ((補助対象額) 1 / 4)) であり残りは市の単独費	必要性 有効性 達成度 効率性	
		等		工 FD.		(㎡) 平成21年度		(m ²) 平成21年度		(%) 平成21年度	平成21年度		平成21年度	説明欄:平成23年・平成24度の2ヵ年で計 町村土木補助金を活用し用地買収並びに追 野詳細設計等を行い、平成25年度に道路惠 備を行う予定である。	Í	となる。	所管課長 施設建設担当 小島 信行 平成21年度	
21-05-03		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額		事業全体用地 取得面積	457	用地取得面積	0 用	地取得面積	0	0	0	0	事業延長L=200m 幅員W=6.0m→W=9.0m (車道7.0m+歩道2.0m)	0			
	市道210号線改修事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		-	(m²)		(m²)		(%)								
		事業	□ 直営(委託無) □ 全部委託 ■ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 安全性、快適性が向上した生活道路 を利用できる。		平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度		平成20年度		平成20年度	
		形態	□ その他()	を利用できる。		(m²)		(m²)		(%)	5,460	163	5,623		0		5,460	
	施設管理課		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	対象 地域住民		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持	平成22年度	説明欄:	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:
	土木工事係	根拠 法令	道路法 第29条 交通安全対策基本法 第4条	13 CONTEN		14 (件)		(件)		(件)	0	1,783	1,783	説明欄:追路法亚びに父迪安全対策基本法では、道路管理者である市が安全かつ円滑	1100		必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 所管課長 施設建設担当 小島 信行	
21-05-04		71,111,1	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	手段 補助幹線道路、主要生活道路、危険 箇所(交通ボトルネック等)の整備計 画及び拡幅要望の市民との話し合い。	整備計画予定 のある市道の 件数	平成21年度	当該年度に整備 に着手した件数	1 備	該年度に整 に完了した 数		平成21年度	平成21年度		な交通を確保するよう規定されている。 H22年度については、H20~22年度の実施計 画に基づき道路整備を実施してきた。今6 は、市内全域の整備計画書の作成を行ったいきたいが、現地踏査並びに、交通事故調査、整備要望の集約など作成には時間を要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		戦明欄:道路法並びに交通安全対策基本法では、道路管理者である市が安全かつ円滑な交通を確保するよう規定されている。 H22年度については、H20~22年度の実施計 画に基づき道路整備を実施してきた。今後	
	市道道路整備計画事 業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)	(件数 生) (-	(件)		(件)		(件)	件)			することから、市全体の整備計画書が出来 るまでは、H23∼H27(5年)の実施計画を作	E		は、市内全域の整備計画書の作成を行って いきたいが、現地路査並びに、交通事故調 査、整備要望の集約など作成には時間を要	
		■ 直営(委託無) 事業 形態 □ 一部委託	■ 直営(委託無) □ 全部委託□ 一部委託 □ 補助・助成金			平成20年度		平成20年度		平成20年度平成	平成20年度			成し整備を行っていく予定である。	平成20年度		平成20年度 することから、市全体の整備計画書が出来 るまでは、H23~H27(5年)の実施計画を作 成し整備を行っていく予定である。	
		1	□ その他()	217/4 (0 0 0		(件)		(件)		(件)	0	1,779	1,779				0	

政策名 快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名 21 都市基盤の安全性、快適性の確保

	所管課係名			対象指	台標	活動指		成果指					事務事業全体			一般財源分		
事務事業			事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値		(意図したこと) 数値指標		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト		4	持定財源に伴う一般財源	一般財源	全庁評価会議
番号	事務事業名		(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	16.10	実績値		実績値	11- 1W	実績値	1	2	1)+2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業領(実績額	5)	事業費 (実績額) 事務事業の方向性、項目別評価	(24年度に向けた 方向性等)
					指標	(単位)	指標	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円	事業質の概要説明	及びその理由等	
	施設管理課		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	対象 市道 (認定・認定外道路)		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状	弋維持 平成22年	説明欄:	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:
	管理調整担当	根拠	(国) 道路法			228,357		856		856	8.578	5,708	14,286	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効	率性 3		必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3	
		等				(m)		(件)		(件)	0,570	5,700	14,200	説明欄:巾追を安全、快適な状態に とは道路管理者(市)の責務であり	、道路		所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
				手段 道路及び附帯構造物の機能を常に良好な状態に保つため、修繕や改修の		平成21年度	市民からの通報	平成21年度		平成21年度	平成21年度	21年度 平成21年度 平成	平成21年度	■利用者の不安を取り除き、常に安全 ■に利用してもらえるようにすること ■利用者の安全確保上必要不可欠であ	は道路 平成21年	度	説明欄:市道を安全、快適な状態に保つことは道路管理者(市)の責務であり、道路	
21-05-05		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内容 図るため、道路パトロールを実施	市が管理する 道路延長	228,298	並びにパトロール実施中に発見	1,583 修	繕件数	1,583	26,487	5,813	32.300	道路パトロール、修繕箇所の要望等 てはアウトソーシングを行っていく ある。事業費の一部に道路占用料等	につい		利用者の不安を取り除き、常に安全、快適 に利用してもらえるようにすることは道路 26.487 利用者の安全確保上必要不可欠であるが、	
	道路管理事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(m)	した箇所数	(件)		(件)	,,			ある。事業質の一部に道路百用科等 千円 が充当されている。 -	F (3, 820		道路パトロール、修繕箇所の要望等につい てはアウトソーシングを行っていくべきで	
		■ 直営(委託無) □ 全部委託			平成20年度	Ę	平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	年度	平成20年	度	ある。事業費の一部に道路占用料等(3,820 千円) が充当されている。		
	ब	事業 形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意図安全性の確保		228,070	0	1,066		1,066	24,977	5,696	30,673	9,673			24,977	
			□ その他()			(m)		(件)		(件)		-	-			9K DD 4M		3K DD 14B
	施設管理課 管理調整担当		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的 (国) 道路法	対象 市道 (認定、認定外道路) への除雪		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状	大維持 平成22年	護機:	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:
	日在脚正戶二	根拠 法令	(四) 但时位			228,357		1		1	369	1,903	2,272	型 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効 2 説明欄:道路管理上、大雪に対する			必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 369	
		等				(m)		(回)		(回)				業は市民が安全に通行するためには あり、事務事業としては存続する必	比必要で		所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 立 説明欄:道路管理上、大雪に対する除雪作	
				手段除雪業務市道の除雪		平成21年度		平成21年度	ŀ	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	€る。職員で対応できない積雪時に は、既に外部委託を実施している。	.ついて 平成21年	:度	*成21年度 業は市民が安全に通行するためには必要で あり、事務事業としては存続する必要があ	
21-05-06			□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内容	除雪延長	248,238	除雪回数		雪回数	0	0	0	C				る。職員で対応できない積雪時について は、既に外部委託を実施している。	
	道路等除雪事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		_	(m)		(回)		(回)				_		平成20年度		
		事業	□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	E	平成20年	·度 ——	平成20年度	
		形態		意図 冬場の生活道路の通行確保		247,689		0		0	0	0	C				0	
			□ その他()			(m)		(回)		(回)		T-0			F-0#++ B	説明欄:		説明欄:
	施設管理課 管財担当	ATT INC	□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的 (国) 国有財産法に準拠	対象 市道、水路の官民境及び 境界確認を申請する市民		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	 	代維持 平成22年	- E	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	
		根拠 法令				248,525					12,776	29,392	42,168	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効3 説明欄:境界確定事務は、現在、境			12,776 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	
		4		I CO.		(m) 平成21年度		平成21年度	F	(件)	亚成21年度	亚成21年度	1.5 m m m m m m m m m m m m m m m m m m m	を必要とする市民からの申請及び市 とする箇所について実施している事 ほる。地権者からの申請については、	務であ	· re	所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 説明欄:境界確定事務は、現在、境界確 平成21年度	
21-05-07		野海	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額		市道及び			140	界確定の	71		十成21千及	TM21418	の費用負担により実施している。尚 者の負担となっている測量代等につ	ý、申請 		**成21年度 を必要とする市民からの申請及び市が必要とする箇所について実施している事務である。地権者からの申請については、申請者	
21 05 01	道路・水路境界立会		□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		水路の延長	248,466 (m)	申請件数	71 件	数	(件)		29,937	42,191	る。また、この手来は、官垤石とし	ての責		12,254 の費用負担により実施している。尚、申請者の負担となっている測量代等については	
	事務		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成20年度		平成20年度			平成20年度	平成20年度	平成20年度	務であり、必要性が高い。本事業は - 占用料等(12.776千円により財源充 F ている。			社会通念上の取引慣行からみて適正である。また、この事業は、管理者としての責 平成20年度 務であり、必要性が高い。本事業は、道路	
		事業		意図 官民境界の確認		248,238		77		77				<u> </u>			占用料等(12.776千円により財源充当されている。	
		形態	□ その他()			(m)		(件)		(件)	22,031	29,331	51,362	2			22,031	
	Life day, from earn earn		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	如点来他点点,不是的		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状	大維持 平成22 5	説明欄:	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:
	施設管理課 管財担当	根拠	(国) 道路法	対象 認定要望のある道路 宅地開発により造成された道路		228,357		3		59				必要性 4 有効性 4 達成度 4 効			必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	
		法令 等				(m)		(件)		(m)	397	13,127	13,524	1			397 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
				手段		平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	利用する市民の市民生活に基づく交 ₹確保につながる。よって、市により	延通網の 本事業 平成21年	度	ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
21-05-08		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	市道の認定、廃止内容	市道の延長		市道延長の 認定、廃止、変		道の延長 減量	228				- を継続する必要があり、受益者負担 実施や本事業の廃止は考えられない 業は、道路占用料等 (397千円) に	、本事		利用する市民の市民生活に基づく交通網の確保につながる。よって、市により本事業	
	市道認定・廃止事務	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)	-	-1* A= */ A= X	(m)		(件)		(m)	0	13,370	13,370	業は、道路占用料等 (397千円) に 源充当されている。	- S 7 /N		0 を継続する必要があり、受益者負担による 実施や本事業の廃止は考えられない。本事 業は、道路占用料等(397千円)により財	
			□ 直営(委託無) □ 全部委託		1	平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	E	平成20年	度	源充当されている。 平成20年度	
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	市道の認定、廃止を行うことによ 意図 り、市の整備計画に基づく管理が可		228,070		3		549]				
			□ その他()	能となる。		(m)		(件)		(m)	0	13,100	13,100				0	
	1	1														1.		1

政策名 快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名 21 都市基盤の安全性、快適性の確保

所管課係名				対象指	:煙	活動指	檀	成果指					事務事業全体			一般財源分		
事務事業			事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値		(意図したこと 数値指標		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータルコスト		特別	別源に伴う一般財源	一般財源	全庁評価会議
番号	事務事業名		(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図		実績値		実績値		実績値	1	2	1)+(2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費(実績額)		事業費 (実績額) 事務事業の方向性、項目別評価	(24年度に向けた 方向性等)
					指標	(単位)	指標	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	事業費の概要説明	及びその理由等	
	施設管理課		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	14 + * (30 + * 10)		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	g 24年度以降に向けた方向性: 現状維	持 平成22年度	説明欄:	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:
	管財担当	根拠	(国) 道路法	- 対象 市道(認定道路)		228,357		1,976		59		5 400	10.10	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性	± 4		必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	
		- 法令 等				(m)		(m))	(m)	11,707	7,420	19,127	説明欄:市道の延長は、まちづくりの基礎 数値として地方交付税の算出資料にもなっ	なっ		11,707 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
				手段		平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	■ている。また、道路法第28条により道 ■理者が管理、作成しなければならない ■である。本事業は、道路占用料等(11	事業 平成21年度		平成21年度 数値として地方交付税の算出資料にもなっ	
21-05-09		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内容 内容 	市道の延長	228,298	道路台帳の 補正更新延長	1,079 道補	路台帳の 正更新延長	228		7,557	18.908	千円)により財源充当されている。	, 101		ている。また、道路法第28条により道路管理者が管理、作成しなければならない事業 11,351 である。本事業は、道路占用料等(11,707	
	道路台帳補正事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(m)		(m)		(m)	11,351	1,551	18,908				千円)により財源充当されている。	
			□ 直営(委託無) ■ 全部委託]	平成20年度		平成20年度	3	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度		平成20年度		平成20年度	
			意図 市道の整備状況の把握及び地方交付 税の算定基礎資料の提出		228,070		2,044		549	9,765	7.405	17,170				9,765		
			□ その他()	DECOMPLEMENT OF THE PROPERTY O		(m)		(m)		(m)	9,765	7,405	17,170	,			9,765	
	施設管理課		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	計会市道上の不法投棄者		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維	持 平成22年度	説明欄:	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:
	管理調整担当	根拠	(国) 道路法	市直上の不法投業者 市道上の不法投棄物		228,357		431		431	488	2,569	3.057	必要性 4 有効性 4 達成度 2 効率性	± 2		必要性 4 有効性 4 達成度 2 効率性 2	
		等		・市民通報 道数パトロールによ		(m)		(件)		(件)	400	2,503	3,037	説明欄:粗大ゴミ等の道路上への不法 は、利用者のモラルの問題もあるが、	道路		所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
				・市民通報、道路パトロールにより、不法投棄されたゴミを発見し、 不法投棄者を確認のうえ、投棄者不明	加 市道延長	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	■の安全を確保する上で引き続き、道路 はロールを一層強化しながら、外部委託 ■能性を模索していく必要がある。			平成21年度 説明欄:粗大ゴミ等の道路上への不法投棄 は、利用者のモラルの問題もあるが、道路	
21-05-10		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内容 の物は張り紙による警告を行って、一 定期間後、市職員が回収しその後、処 理業者に引き渡す 不法投棄者に回収させる。不法投棄		228,298	不法投棄物件数	492 不数	下法投棄物件 数	492	942	2,616	3,558				の安全を確保する上で引き続き、道路パト ロールを一層強化しながら、外部委託の可 942 能性を模索していく必要がある。	
	道路不法投棄 処理事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(m)		(件)		(件)	942	2,616	5,550				942	
			□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度		平成20年度	成20年度	平成20年度	
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助・助成金	不法投業者に回収させる。不法投業 意図 者が不明の場合市で迅速に回収処分 する		228,070		525		525	315	2,563	2.878	3			315	
			□ その他()			(m)		(件)		(件)	313	2,000	2,010	,			515	
	施設管理課		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	-対象 市道(認定、認定外道路)の雨水		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 拡大	平成22年度	説明欄: 柳泉園環境整備負担金、 地域活性化交付金を除い	平成22年度 24年度以降に向けた方向性:	説明欄:
	道路河川施設担当	根拠	(国) 道路法	713 TIDE (IDDAL 、IDDAL / FIEID) 92 NIJ/N		817		135		17	54,911	5 939	60,143	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性	± 4 5,729	地域石性化交刊金を除い た額	必要性 有効性 達成度 効率性	
		等				(m)		(m)		(%)	54,511	5,252	00,140	説明欄:公共雨水計画との整合性は図がら、内水対策としての暫定的な排水	りな 施設		所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
				手段 ・ 市道への雨水排水施設整備	道路雨水排水	平成21年度		平成21年度			平成21年度	平成21年度		■の設置を実施する必要がある。また、 関 開発等による土地利用の際における民 ■業者への指導の強化が必要となる。			平成21年度 説明欄:	
21-05-11		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容	計画延長(道 路舗装補修5	:1 1:	道路の雨水排水 施設の整備延長	100 整	水排水施設 備率(単年 率)		16,031	5 390		本事業には、柳泉園環境整備負担金、	191年			
	道路雨水排水施設組 持管理事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		カ年計画)	(m)		(m)		(%)	10,001	0,020	21,500) 6年に交刊並(1822年度15,730 F 円、F 度1,000千円、H20年度1,000千円)が されている。	充当 15,001			
			□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	E	平成20年度		平成20年度	
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	意図 安全性への確保		218		218		61	20,961	5,221	26,182	2	19,961			
			□ その他()			(m)		(m)		(%)	20,001	0,221	20,102		10,001			
	施設管理課		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	-対象 市道(認定、認定外道路)		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維	持 平成22年度	説明欄: 市町村土木補助事業、柳 泉園組合環境整備負担金	平成22年度 24年度以降に向けた方向性:	説明欄: 行財政改革アクション プラン(道路・河川及
	道路河川施設担当	根拠	(国) 道路法	PI A HONCY BUNCT (ACM)		228,357		84		84	274 842	11 034	285 876	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性	± 4 83 489	水園和古塚児童哺貝担金 及び地域活性化交付金等 を除いた額	必要性 有効性 達成度 効率性	ブラン (追昭・荷川及 び付属施設維持管理) →外部委託の拡大検討
		等				(m)		(件)		(件)	214,012	11,001	200,010	が表現している。	暦 事		所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
				手段 道路舗装、補修、側溝修繕などを含		平成21年度		平成21年度			平成21年度	平成21年度	平成21年度	□業を進めて行くべきである。平成22年 ₹成した「道路舗装補修工事5カ年計画 □推進を図っていく。			平成21年度 説明欄:	
21-05-12		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	めた道路付属施設の維持管理	市道延長	228,298	生活道路の安全 性確保	77 生全	活道路の安 性確保	77		11 930	152.064	本事業には、市町村土木補助事業、柳	/ L A			
	道路維持事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(m)		(件)		(件)	142,501	11,200	102,004	和台塚東整備貝担金及び地域活性化交 等 (H22年度190,920千円、H21年度21 千円、H20年度33,892千円)が充当さ	,022 121,930 れて			
		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	1 -	平成20年度		平成20年度		
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	意図生活道路の安全性の確保		228,070		97		97	216 500	11.019	995 519	,	182,698			
			□ その他()			(m)		(件)		(件)	210,090	11,012	225,512		182,698			
	•	-												,				

政策名 快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名 21 都市基盤の安全性、快適性の確保

	所管課係名			対象指	· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	活動指	5	成果指					事務事業全体			一般則	计源分		
事務事業		事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値		(意図したこと 数値指標		事業費		トータルコスト		特定	対源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議	
番号	事務事業名	(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	1	2	1)+2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費 (実績額)	事業費の概要説明	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価	(24年度に向けた 方向性等)	
				担保	(単位)	担保	(単位)	担保	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	争未員の似安武明	(千円)	及びその理由等		
	施設管理課	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	対象 法定外公共物(里道、水路)		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	E 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	平成22年度	説明欄:	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 説	的欄:	
	管財担当	(国) 国有財産特別措置法 根拠 (市) 東久留米市公共物管理条例 法令			184		2		2	539	5,137	5,676	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 3	_		539	<u>必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 3</u>		
		等 	手段 ・ ・ 内容 調査 (測量等) を行う。		(箇所)	-	(件)		(件)				説明欄:法定外公共物は地方分権一括法に より市の財産、管理となったものであり、 機能が廃滅した物件に対し、用途廃止等に				所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 説明欄:法定外公共物は地方分権一括法に		
					平成21年度				平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	E より普通財産に所管替えを行い、歳入確保 の観点から必要な事業である。本事業は、	平成21年度		平成21年度	より市の財産、管理となったものであり、 機能が廃滅した物件に対し、用途廃止等に		
21-05-13	法定外公共物	WINN C TEXTINGS C TRINGS ()									5,232	9,815	道路占用料等 (2,247千円) により財源充 815			4,588	より普通財産に所管替えを行い、歳入確保 の観点から必要な事業である。本事業は、 道路占用料等(2,247千円)により財源充		
	特定調査事業	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)		-	(箇所)		(件)		(件)								当されている。		
		事業 ■ 2015年 □ 全部委託	市の行政財産として機能及び財産管理を適正におこない、現在、機能が廃滅した財産について所管替、払い		平成20年度	-	平成20年度		平成20年度	平成20年度	半成20年度	半成20年度	Ē	平成20年度		平成20年度			
		形態 ■ 一部委託 □ 補助・助成金 □ その他()	応滅した財産について所管替、払い下げを行う。		(箇所)		(件)		(件)	1,378	5,126	6,504				1,378			
		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	里日		平成22年度		平成22年度			平成22年度	平成22年度	平成22年度	₹ 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	平成22年度	説明欄:	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 説	拍明欄:	
	施設管理課 道路河川施設担当	(国) 道路法	対象 黒目川と落合川のサイクリング道路 の利用者		6,209		4		4			1 1 1 2	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	1,77=1,2			必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4		
		法令		道路除草、剪定面積	(m²)		(回)		(回)	3,780	2,759	6,539		<u>-</u>		3,780	所管課長 施設管理課 古澤 毅彦		
					平成21年度	除草、剪定実施 件数	平成21年度	除草、剪定実施	平成21年度		平成21年度	平成21年度	ることは必要な事業である。外部委託を既 Eに実施中である。本事業の一部に道路占用			平成21年度	説明欄:河川の一部を占用し、市民に利用 して頂いているサイクリング道路を管理す		
21-05-14		財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額			6,209		4		4				_料等が充当されている。 				ることは必要な事業である。外部委託を既 に実施中である。本事業の一部に道路占用		
	サイクリング道路維 持管理事業	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(m²)		(回)		(回)	6,481	2,810	9,291				6,481	料等が充当されている。		
		□ 直営(委託無) ■ 全部委託	意図 安全に気楽に自然とふれあえる。市 民の健康増進		平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	E	平成20年度		平成20年度			
		事業 形態 □ 一部委託 □ 補助・助成金			6,209		4		4	6,405	2 753	9,158	3			6,405			
		□ その他()			(m²)		(回)			(回)	0,100	2,100	0,150			3V 77 188	0,100	av av	(np. 199
	施設管理課道路河川施設担当	□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	対象 遊歩道の利用者 手段 清掃、植栽剪定、除草、害虫駆除、	、 遊歩道(自転 車、歩行者用 道路)の延長	平成22年度	平原	平成22年度	-		平成22年度	平成22年度	平成22年度 平	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持	平成22年度	説明欄: 柳泉園環境整備負担金を 除いた額	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	拍開 :
	追码刊用地 放理当	(国) 道路法 根拠 去令			3,405		5		5	6,611	857	7,468	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 説明欄:遊歩道利用者が安全に自然とふれ	2,611			必要性 有効性 達成度 効率性		
		等 			(m)]	(回)		(回)				あえるために、清掃、除草、剪定等を定期 的に行っており、事務事業としては、存続 度する必要がある。本事業には、柳泉園環境 平射 整備負担金及び道路占用料(H22年度4,000 千円、H21年度5,000千円、H20年度4,000				所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 説明欄:		
		財源 □ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額			平成21年度] [平成21年度	除草、剪定実		平成21年度	平成21年度	平成21年度)		平成21年度			
21-05-15	滝山地区遊歩道維持	財源 □ 全額網助 ■ 一部補助有 □ 巾至額 上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)	NA			除草、剪定実施 件数		际早、男足美 施件数	n 平、 另 庄 天 拖件数	5	7,994	872	l 1	6 円)が充当されている。事業は既に外部委 託を実施中であるが、隣接する住民やボラ	:				
	事業	□ 直営(委託無) ■ 全部委託		1	平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	ンティア制度を導入することにより経費の 一節減も考えられるため、制度の創設を検討-	平成20年度		平成20年度			
		車業	意図 安全に気楽に緑にふれあえる		3,405	-	5		1 7020-73	1 1 1 1 2	1 20 1 20	1 1 1 1 1 1 1 1		1,000 1,00		1 3020 1 20			
		形態 □ その他()			(m)		(回)		(回)	7,292	855	8,147	7	2,292					
	施設管理課	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的			平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	E 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	平成22年度	説明欄:	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 説		
	道路河川施設担当	根拠	対象駅施設の利用者		4		365		365				必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3				必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3		
		等		1	(箇所)		(目)		(目)	20,603	5,232	25,835	説明欄:駅削広場を含めた駅施設は追路付属物の一つであり、道路管理者の責務であ)		20,603	所管課長 施設管理課 古澤 毅彦		
			手段 清掃、保守点検、植栽管理、噴水管	施設の数(昇	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	る。また、施設の維持費の財源として有料 に告物の掲示を許可しているが、経済情勢 の低迷もあり申込みが少ない (H21年度に			平成21年度	説明欄:駅前広場を含めた駅施設は道路付展物の一つであり、道路管理者の責務であ		
21-05-16		才源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内容	降施設、便所、資水、広		清掃日数	365	清掃日数	365	91 116	5 290	96.445	252千円の収入)。なお、経費の軽減を図 る上で、H23年度から清掃作業回数の見直 しを行った。				る。また、施設の維持費の財源として有料 広告物の掲示を許可しているが、経済情勢 の低迷もあり申込みが少ない(H21年度に		
	駅施設維持管理事業	上乗 ■ 市独自上乗せ(上乗・横出)		/////////////////////////////////////	(箇所)		(目)		(目)	21,110	9,929	20,440	しを行った。			21,110	252千円の収入)。なお、経費の軽減を図る上で、H23年度から清掃作業回数の見直しを行った。		
		□ 直営(委託無) ■ 全部委託			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	度			平成20年度			
		事業 形態 □ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 安全、快適な施設の提供		4		365		365		5,221	28,566	3			23,345			
		□ その他()			(箇所)		(目)		(目)		-								

政策名 快適な都市環境が整ったまち 施策番号・名 21 都市基盤の安全性、快適性の確保 基本事業番号・名 21-05 生活道路の整備

	所管課係名					対象指		活動指	標	成果指					事務事業全体			一般財源分	
事務事業				事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値	直指標化)	(手段の数値	指標化)	(意図したこと 数値指標		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト			特定財源に伴う一般財源	一般財源	全庁評価会議
番号	事務事業名	名	(根拠法令等、財源、上乗、形態)		事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)	① (千円)	② (千円)	①+②	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	(実	業費 績額) 事業費の概要説明 -円)	事業費 (実績額) 事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	(24年度に向けた 方向性等)
				自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的			平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状	大維持 平成	22年度 説明欄:	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:
	施設管理課 管理調整担当		艮拠	国)道路法	対象 ・ 市道(認定、認定外道路)の利用者		228,357		767		76,321				必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率	率性 4		必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	
			等			-	(m)		(件)		(千円)	0	13,032	13,032	説明欄:道路法第32条により権能的 あり、不可欠である。占用料の見直			n 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
					手段	道路延長	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	り、特定財源の確保に努める必要があ [成21年度	説明欄: 道路法第32条により権能的事務で あり、不可欠である。占用料の見直しによ	
21-05-1	7	財	才源 □	全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	・ ・条例に基づく道路占用許可 内容		228,070	占用許可件数	679 占	用料	75,733		10.050					り、特定財源の確保に努める必要がある。	
	道路占用許可事務	L乗 🗆	市独自上乗せ(上乗・横出)			(m)		(件)		(千円)	0	13,273	13,273	3					
			•	直営(委託無) □ 全部委託	・市が管理する道路を原状に復旧させることにより安全で快適に維持する。 意図 る。 ・道路の占用による受益者負担を確実に徴収する		平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	E	平成	20年度	平成20年度	
		马 开	事業	一部委託 □ 補助·助成金			227,521		634		75,449	0	13,005	13,005				0	
				その他()			(m)		(件)		(千円)	Ü	13,003	13,003				0	
	施設管理課	7.16		自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	一対象 市道への植栽		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状:	犬維持 平成	説明欄: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成22年度 24年度以降に向けた方向性:	説明欄:
	道路河川施設担	村	艮拠 去令	国)道路法			6,995		5		5	21,527	2,378	23,905	必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率		1,527	必要性 有効性 達成度 効率性	
			等				(m²)		(回)		(回)				「説明欄:市道利用者に安らぎと潤いってもらうため、清掃、除草、剪定等ったのでおり、事務事業としては、	声を定期		所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
					手段 植樹帯清掃、街路樹害虫駆除、街路 樹剪定、街路樹植栽	学時の母ルフ	平成21年度	and the first of the state of the state	平成21年度	相体扑箭穴		平成21年度	平成21年度	平成21年度	t する必要がある。 なお経年により倒木等の恐れのある?	海路樹 ——	21年度	平成21年度	
21-05-1	8	具	才源 □	全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容	道路の緑化面積	6,995	情掃植栽剪定実 拖件数		∦掃植栽剪定 施件数	5	23,447	2,423	25,870	については植え替えを行っていきたい 本事業は、柳泉園組合環境整備 (H22年度 10,000千円、H21年度 10,	負担金 1	3,447		
	道路植栽管理事	業」	L乗 □	市独自上乗せ(上乗・横出)			(m²)		(回)		(回)				円、H20年度11,000千円)を充当してる。				
		3	1. 堂	直営(委託無) ■ 全部委託			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	E	平成	20年度	平成20年度	
		Я	少忠		意図 市道の景観形成		6,955		5		5	24,387	2,374	26,761	ı	1	3,387		
				その他()			(m²)		(回)		(回)		T-0-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-			L 6# ++			説明欄:
	施設管理課 管理調整担当		(自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的 国)道路法	対象市道上に放置された自動車		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	 	1	22年度	平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	
		h	艮拠 去令 等			_	1		1		(4)	34	476	510	<mark>必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率</mark> 説明欄:本事業は、放置された自動 ¹	加車の所		34 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦	
			,		エの、生み野市の夕い畑でし野市ム粉の細		平成21年度		(台) 平成21年度		(台)	亚成21年度	亚成21年度	亚成21年度	有者等を調査し、法的な手続きを経 動車の除去を実施する事業であり、 長不可である。	廃止は	21年度	説明欄:本事業は、放置された自動車の所	
21-05-1	9	<u> </u>	財源 □	全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	手段 違法駐車の多い個所と駐車台数の調 ・ 査をして、違法駐車排除対策の広報 内容 活動の推進する。	放置されてい		散去指導した台		が撤去した		. m=1 T/Z	. /we1 T/X	1 221 7 12		1-192		************************************	
21 00 1		-	-	市独自上乗せ(上乗・横出)		る自動車台数	(台)	数	1 台	`数	(台)	0	0	0				0	
				直営(委託無) □ 全部委託		-	平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	E	平成	20年度	平成20年度	
		4	巨坐		意図 道路上の障害物をなくす		0		0		0				-				
		П	7 悠	その他()			(台)		(台)		(台)	0	0	0				0	
		, i		その他()			(台)		(台)		(台)	0	0	0				0	